MORNINGSTAR

モーニングスター株式会社

第22期　定時株主総会

招集ご通知

■日時　2019年6月17日（月曜日）午前10時

■場所　ザ・キャピトルホテル東急
鳳凰（1階）
東京都千代田区永田町2-10-3

会場が前回と異なっておりますので、末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようにご注意ください。

本定時株主総会終了後、「経営近況報告会」を開催いたします。株主総会に引き続き、ご出席くださいますよう、よろしくお願い申しあげます。

目次

株主の皆様へ…… 1
経営成績について…… 2
配当金について…… 3
第22期定時株主総会招集ご通知 …… 4
（添付書類）
事業報告…… 6
連結計算書類…… 27
計算書類…… 29
監査報告…… 31
株主総会参考書類
第1号議案　取締役10名選任の件 …… 34
第2号議案　補欠監査役1名選任の件…… 42



株主の皆様へ



代表取締役社長
朝倉 智也

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を事業の目的としております。
2019年３月期は、国内の公募追加型株式投資信託の純資金流入額が、前年比66.7%減少という厳しい市場環境でありましたが、連結営業利益、連結経常利益は10期連続の増益を達成し、８期連続の最高益を更新することができました。
このような長期の成長は、ファイナンシャル・サービス事業において、現在、金融庁が提唱する金融機関の「フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）」に適合するサービスを地道に提供してきたことが、投資家の皆様に評価された結果であると考えております。
一方、投資家の皆様の資産形成に役立つために、投資家にとって望ましい投資信託を自ら組成し、提供することも行ないたいと考え、SBIアセットマネジメント株式会社を2012年10月に子会社とし、アセットマネジメント事業を開始いたしました。
同社は、子会社化後、順調に成長を続けてきました。今後、アセットマネジメント事業を強化し、さらに投資家の皆様の資産形成に役立つために、運用するファンドの範囲、種類を広げたいと考えております。
このような観点から、当社は、2019年２月にCarret Asset Management LLC（以下、CAM）の持株会社であるCarret Holdings, Inc.の株式を取得し、CAMを子会社といたしました。
CAMは、長期バリュー投資の哲学を世に広めたPhilip Carret氏が創設した資産運用会社です。1962年の創設以来、Philip Carret氏の長期バリュー投資の運用哲学を継承し、米国で債券型のファンドを中心に、長期で安定した運用実績をあげ、主要顧客である富裕層や機関投資家から高い評価を受けております。
CAMとの協業で、当社グループからCAMの長期バリュー投資の運用力の高く、かつ安定的なファンドを、日本の投資家に提供していきたいと考えております。
今後も、ファイナンシャル・サービス事業とアセットマネジメント事業の両輪で、投資家の皆様の資産形成に役立ちたいと考えております。
株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2019年5月

経営成績について

■2019年3月期の連結売上高は、7期連続の増収となる6,004百万円となりました。

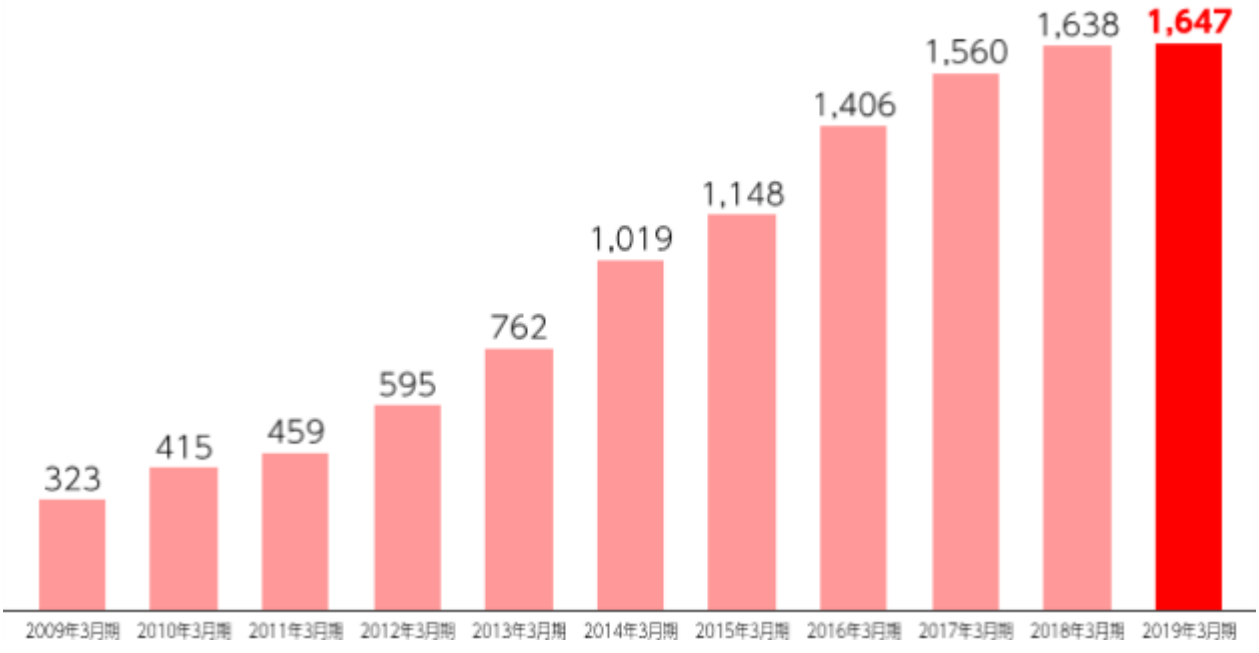
■連結営業利益は1,647百万円、連結経常利益は1,777百万円となり、いずれも10期連続の増益、８期連続の最高益更新となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益は1,220百万円となり、10期連続の増益、６期連続の最高益更新となりました。

詳細は、事業報告、連結計算書類および計算書類をご参照ください。

連結営業利益の推移

（単位：百万円）



配当金について

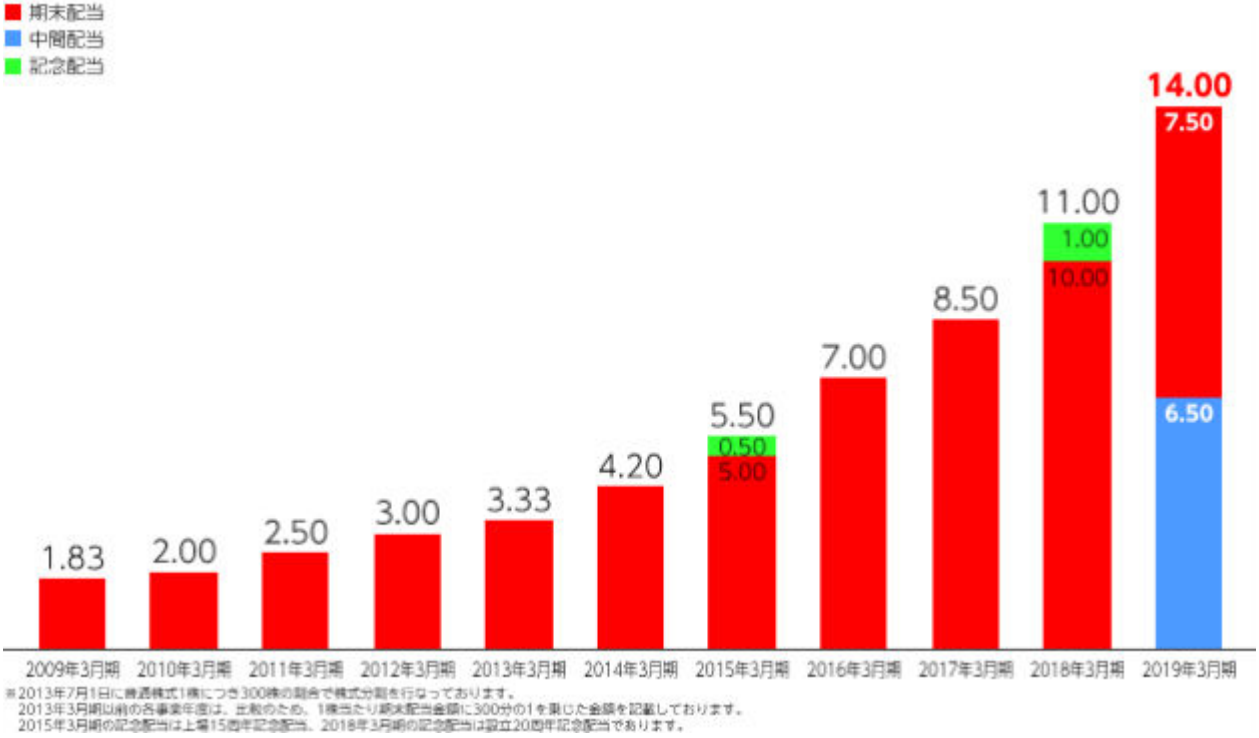
■2019年3月期の配当は、2018年9月30日を基準日とする中間配当を1株につき6円50銭を実施し、2019年3月31日を基準日とする期末配当を1株につき7円50銭といたします。合計の年間配当は14円となります。
前事業年度から普通配当につき4円（40.0%）の増配、配当金合計で3円（27.2%）の増配となります。

■10期連続の増配となります。

■当社は、当期純利益の増加に応じて期末配当を増やしております。
今後も、株主還元を増やせるように増益を目標に努めます。

1株当たり配当金額の推移

（単位：円）



※2013年7月1日に普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行なっております。
2013年3月期以前の各事業年度は、比較のため、1株当たり期末配当金額に300分の1を乗じた金額を記載しております。
2015年3月期の記念配当は上場15周年記念配当、2018年3月期の記念配当は設立20周年記念配当であります。

株主各位

証券コード 4765
2019年5月31日

東京都港区六本木一丁目6番1号
モーニングスター株式会社
代表取締役 **朝倉 智也**

第22期定時株主総会招集ご通知

拝啓　格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第22期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2019年6月14日（金曜日）午後5時45分までに到着するようご返送くださいますようお願い申しあげます。

敬　具

記

1 日　　時	2019年6月17日（月曜日）**午前10時**
2 場　　所	東京都千代田区永田町2-10-3 **ザ・キャピトルホテル東急　鳳凰（1階）** 会場が前回と異なっておりますので、末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようにご注意ください。
3 目的事項	**報告事項**　1. 第22期（2018年4月1日から2019年3月31日まで） 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第22期（2018年4月1日から2019年3月31日まで） 計算書類報告の件 **決議事項**　第1号議案　取締役10名選任の件 第2号議案　補欠監査役1名選任の件

以　上

■当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。
■代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面として、委任状および委任者の議決権行使書用紙のご提出が必要となります。
■株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。
■本総会の決議結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

当社ウェブサイト（https://www.morningstar.co.jp/）

経営近況報告会開催のご案内

本定時株主総会終了後、同会場にて「経営近況報告会」を開催いたします。

当会は本定時株主総会とは別に、代表取締役朝倉智也より、当社グループの事業内容、最近の経営状況、今後の展望などについてご説明させていただくものです。

また、株主の皆様からのご質問にもお答えいたしたいと存じます。

ご多忙の折、貴重なお時間をいただき恐縮ではございますが、本定時株主総会に引き続き、ご出席くださいますよう、よろしくお願い申しあげます。



※事業報告、連結計算書類および計算書類の「インターネット開示情報」について

本招集ご通知に添付すべき書類のうち、事業報告の『企業集団の現況』のうち「主要な事業内容」、「主要な営業所」、「主要な借入先の状況」、「直前３事業年度の財産及び損益の状況」、『株式の状況』のうち「大株主（上位10名）」、『新株予約権等の状況』、『会社の役員の状況』のうち「重要な兼職の状況」、「社外役員に関する事項」、『会計監査人の状況』、『業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況』、『会社の支配に関する基本方針』、『剰余金の配当等の決定に関する方針』、『連結計算書類』のうち「連結株主資本等変動計算書」、「連結注記表」および『計算書類』のうち「株主資本等変動計算書」、「個別注記表」は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載する「インターネット開示情報」に記載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。

なお、監査役会が監査報告を、会計監査人が独立監査人の監査報告を作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類および計算書類には、本添付書類記載のもののほか、「インターネット開示情報」に記載しているものも含まれております。

添付書類

事業報告（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

1 企業集団の現況

（1）事業の経過および成果

当連結会計年度（2018年４月１日から2019年3月31日まで）の日本経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善などにより緩やかな回復基調で推移しましたものの、年度後半は通商問題などから中国など海外経済の不確実性が高まり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場においては、公募追加型株式投資信託の純資金流入額が、前連結会計年度（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の4.2兆円から当連結会計年度は1.4兆円と2.8兆円（△66.7%）の減少となりました。

このような厳しい投資信託市場を反映し、子会社SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用純資産残高が減少し、それに伴い信託報酬が減少いたしました。

一方、当社において、金融機関の資産運用アドバイザーが顧客に適切な金融商品説明を行うタブレット端末による金融情報提供が着実に増加いたしました。また、資産運用セミナーの参加者数も順調に増加し、これに伴いメディア・ソリューション（ウェブ広告とセミナー）の売上が増加いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度の5,967百万円から37百万円（0.6%）の増収となる6,004百万円となりました。

売上原価は、前連結会計年度の3,540百万円から37百万円（1.1%）増加し3,578百万円となり、販売費及び一般管理費は、前連結会計年度の787百万円から8百万円（△1.1%）減少し778百万円となりました。

その結果、当連結会計年度の営業利益は、前連結会計年度の1,638百万円から8百万円（0.5%）の増益となる1,647百万円となりました。

営業外収益は、前連結会計年度と比べ、11百万円増加し、その結果、当連結会計年度の経常利益は、前連結会計年度の1,757百万円から19百万円（1.1%）の増益となる1,777百万円となりました。

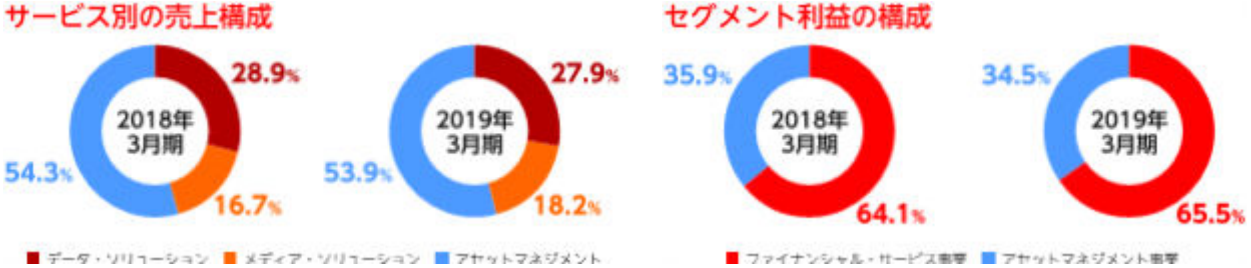
特別損失が、前連結会計年度と比べ、118百万円少なく、その結果、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度の1,099百万円から120百万円（11.0%）の増益となる1,220百万円となりました。

売上高	営業利益
5,967百万円 ▶ **6,004百万円** 前期比0.6%増	1,638百万円 ▶ **1,647百万円** 前期比0.5%増
経常利益	**親会社株主に帰属する当期純利益**
1,757百万円 ▶ **1,777百万円** 前期比1.1%増	1,099百万円 ▶ **1,220百万円** 前期比11.0%増

(3) サービス別売上およびセグメント利益

(単位：百万円)

	2018年3月期				2019年3月期			
	ファイナンシャル・サービス事業		アセットマネジメント事業	連結計算書類計上額	ファイナンシャル・サービス事業		アセットマネジメント事業	連結計算書類計上額
	データ・ソリューション	メディア・ソリューション			データ・ソリューション	メディア・ソリューション		
売上高	1,725	999	3,242	5,967	1,677	1,090	3,236	6,004
	2,724				2,767			
セグメント利益	1,050		588	1,638	1,078		568	1,647



ファイナンシャル・サービス事業　売上高 2,767百万円

主に資産運用全般の情報を比較・分析・評価して顧客に提供し、あわせてコンサルティングなども行なう事業であります。



ファイナンシャル・サービス事業の当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度の2,724百万円から42百万円（1.6%）の増収となる2,767百万円となりました。セグメント利益は、前連結会計年度の1,050百万円から27百万円（2.6%）の増益となる1,078百万円となりました。

データ・ソリューション

売上高構成比



売上高



主なサービス
ファンドデータ
ファンドレポート
日刊「株式新聞」
株式新聞ウェブ版
その他：
株価・企業情報配信、
中国株式・新興国株式情報　など

タブレットアプリの提供台数が前連結会計年度末の52,656台から20,508台（38.9%）増加し、73,164台となり、タブレットアプリ関連データの売上が増加いたしました。一方、前連結会計年度にあったフィンテック関連の大型受注案件がなく、ファンドレポートや株式新聞購読料なども減少しました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前連結会計年度の1,725百万円から48百万円（△2.8%）の減収となる1,677百万円となりました。

メディア・ソリューション

売上高構成比



売上高



主なサービス
ウェブ広告
資産運用セミナー
ウェブ・コンサルティング
その他：
新聞広告、
IR支援・ライフプランセミナー
など

資産運用セミナーの参加者数も順調に拡大し、これに伴いウェブ広告や資産運用セミナーなどを総合的に提供するメディア・ソリューションの売上が増加いたしました。一方、ウェブ・コンサルティングの売上が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前連結会計年度の999百万円から91百万円（1.6%）の増収となる1,090百万円となりました。

① データ・ソリューションの主なサービス

【ファンドデータ】（モーニングスター）

データ・ソリューションの主なサービス

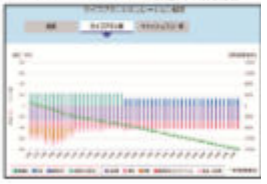
投資信託のアドバイス機能



生命保険の提案機能



ライフプランの提案機能



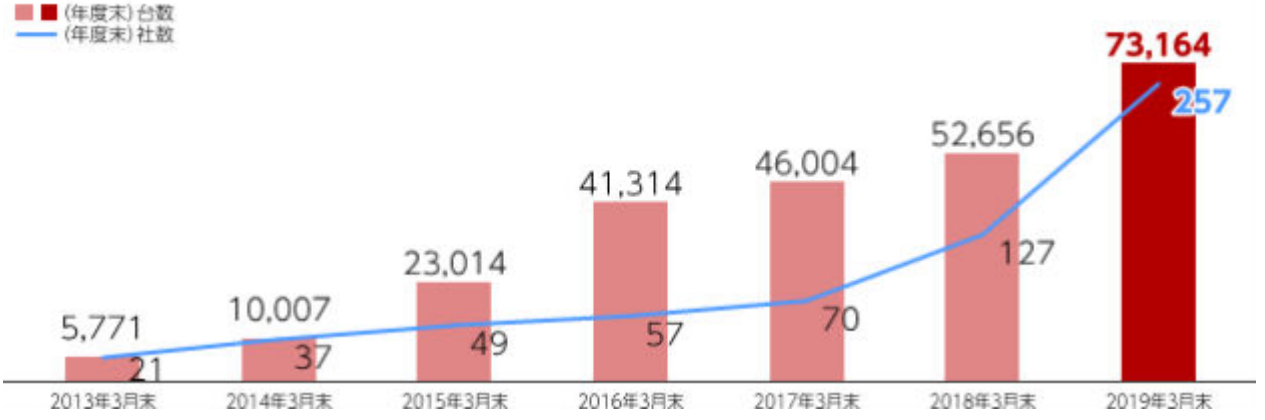
投資家の皆様が、適切な金融商品を選択するためには、金融機関から適切な情報が提供されることが重要です。

当社は金融機関に、投資信託を中心とした金融情報を、パソコンやタブレット端末に掲載するアプリケーション・サービスを提供しております。

このアプリケーションには、「ファンド情報」「比較機能」「購入シミュレーション機能」など投資信託のより良いご提案を行うために欠かせない様々な機能が搭載されております。

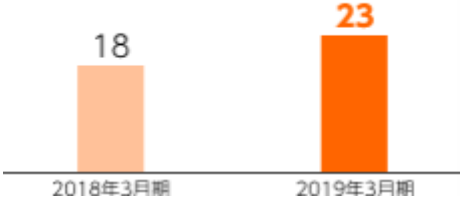
今期は投資信託のアドバイス機能を強化、さらに生命保険、ライフプラン相談など投資信託以外のツールも充実させ、総合金融商品の提案プラットフォーム「Wealth Advisors」へとサービス名も変更し、進化を遂げており、当連結会計年度末における当サービスの提供台数は73,164台となり、前連結会計年度末の52,656台から20,244台（38.5%）増加しました。

拡大を続けるタブレットアプリ



ファイナンシャル・サービス事業

ロボ・アドバイザーツールの提供社数（単位：社）





当社は、Finance（金融）とTechnology（テクノロジー）を融合したフィンテックという成長著しい分野において、その主要なサービスとなるロボ・アドバイザーの開発およびコンサルティングを提供しております。

当社のロボ・アドバイザーはパソコンやスマートフォンの画面上から、個人投資家の皆様に最適な投資信託を提示し、資産運用のアドバイスを提供するシステムです。

（例）ロボ・アドバイザーの診断プロセス

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
質問からリスク許容度を判定	リスク許容度に応じたタイプ診断	モデルポートフォリオの提示	具体的なファンドの提示

【モバイルファースト】（モーニングスター）

モバイルファーストを継続的に推進した結果、モーニングスターのウェブサイト利用者のスマートフォン経由の割合は70%に、スマートフォンアプリのダウンロード数は70万超となりました。



ウェブサイト利用者のスマートフォン経由の割合

（単位：%）



スマートフォンアプリダウンロード数

（単位：DL）



【スマートフォンアプリ「My 投資信託」】（モーニングスター）

モーニングスターでは、2010年9月よりスマートフォンアプリ「株・投信情報」を無料でご提供してまいりました。

これまでの「株・投信情報」は、登録した銘柄の基準価額を速やかに確認することを主な機能としていましたが、このたび「モーニングスターのデータベースを余すことなく投資家の方にご利用いただく」ことをメインコンセプトとしたリニューアルを行ない、名称を、「株・投信情報」から『My 投資信託』に変更し、2019年6月1日よりサービスの提供を開始します。

『My 投資信託』は、「株・投信情報」での情報・機能を、これまでどおり無料で提供することに加え、以下の有用なアプリ機能の一部を有料にて提供します。

【主な有料サービス機能】
- ✓ 個別投資信託やカテゴリー、運用会社ごとの人気ファンドの日次の資金流出入情報
- ✓ ファンド比較や積立投資、純流入額などの多彩なチャート機能
- ✓ 投資信託の過去の騰落率の要因分析や将来パフォーマンス推計機能
- ✓ 多彩なシミュレーションや簡単に操作できるファンド検索機能

「My 投資信託」画面イメージ



【株式新聞　株式新聞ウェブ版】（モーニングスター）

◆日刊紙



◆Web版



1949年の創刊から2019年でまる70周年を迎え、証券専門紙でトップシェアを誇る日刊紙です。独自の情報網を活用した取材、徹底した調査・分析により、個人投資家の皆様の資産運用に役立つ情報を発信しております。

「株式新聞Web版」は、日刊「株式新聞」を、PC、スマートフォンやタブレット型端末などのインターネットベースで提供するサービスです。いち早くその日の市場の動きや注目銘柄情報が閲覧でき、わかりやすい投資情報をタイムリーに提供しております。

◆株式新聞アプリ





2018年に大幅リニューアルした株式新聞Web版、新たにリリースした株式新聞アプリにより、順調に会員数が増加しました。また、自社のお客様向けに活用する金融機関にいわゆるビー・トゥー・ビー・トゥー・シー（B to B to C）向けとして一括販売も拡大しました。

今後は著名執筆者による記事、新たな指標の導入、外国株式情報の充実などサービスの拡充を図ってまいります。

【仮想通貨関連ビジネスの展開】（モーニングスター）

■仮想通貨アプリ「My仮想通貨」

仮想通貨のスマートフォン向けアプリケーションを配信しております。ランキングでは時価総額の他、騰落率での並び替えが出来るほか、約2,000通貨の中からお気に入りの通貨を登録し価格情報を参照できるウォッチリスト機能、各取引所のスプレッドが確認できる通貨詳細ページ、その日の仮想通貨の相場状況が一目で分かるマーケット情報など、また仮想通貨ニュースも日々配信しており、情報豊富な仮想通貨総合アプリとなっております。

●ランキング　●ウォッチリスト　●詳細ページ　●仮想通貨ニュース　●マーケット情報



仮想通貨専用アプリ「My 仮想通貨」ダウンロードはこちら

■仮想通貨関連ニュースを拡充

米国大手のCoindeskならびに、CCN、cryptonewsほかの海外の仮想通貨メディア５社と提携し、仮想通貨に関するニュースの翻訳記事を提供しております。翻訳ニュースに加え、リアルタイムの英語版速報ニュースも配信しております。

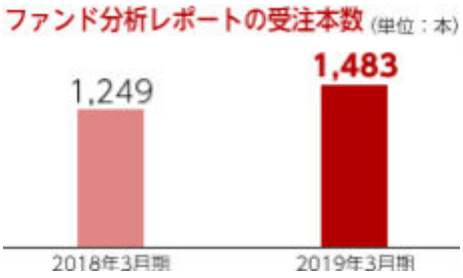
coindesk　CCN　cryptonews　ripple　NULLTX

●翻訳ニュース　●英語版速報ニュース



仮想通貨情報ページ　https://tokens.morningstar.co.jp/

【ファンドレポート】（モーニングスター）





当社のファンド・アナリストが、国内外の投資信託を分析したファンドレポートを運用会社・販売金融機関を通じて、投資家の皆様に提供しております。

また、確定拠出年金採用企業の加入者にトータルな資産形成のサポートを提供しております。

<ファンド・オブ・ザ・イヤー>

毎年国内の公募追加型株式投資信託を対象に、リスクやリターンといった定量面と、運用調査体制等の定性面の両面から、優れた運用実績とマネジメントを持つファンドを選考したアワードです。

最優秀ファンド賞、優秀ファンド賞を受賞したファンドが、その後純資産残高を大幅に伸ばすなど、投資家、販売会社、各種メディアから、大きく注目されています。

最優秀ファンド賞、優秀ファンド賞を受賞したファンドの運用会社から毎年多くのファンドレポートの受注をいただいております。

フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）のサポート

顧客に最適な商品の提供



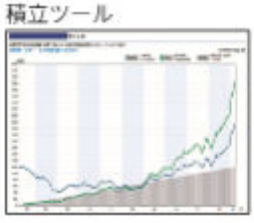


顧客との情報の非対称性の解消





顧客の金融リテラシーの向上





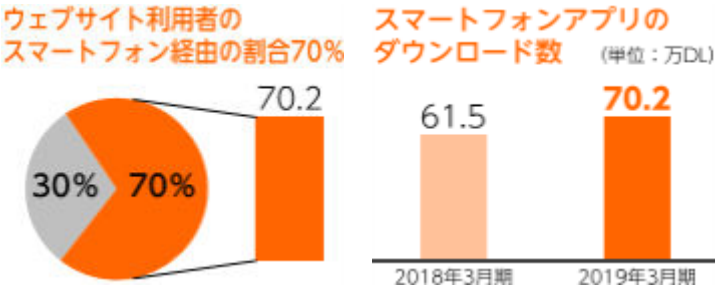
金融機関の顧客に対するフィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）の具体策として、①顧客に最適な商品の提供、②顧客との情報の非対称性の解消、③顧客の金融リテラシーの向上があります。

当社は、フィデューシャリー・デューティーに係る金融機関のニーズに対応するサービスを豊富に提供しております。

フィデューシャリー・デューティーを進める金融機関への、投資信託のラインナップ分析や導入ファンドの選定支援に関わるファンドレポートの売上高は着実に増加いたしました。

② メディア・ソリューションの主なサービス
【ウェブ広告・セミナー】（モーニングスター）

＜ウェブ広告＞



国内随一の金融情報サイトである当社のウェブ広告は、広告効果が高く、セミナーの集客力も強いものとなっています。

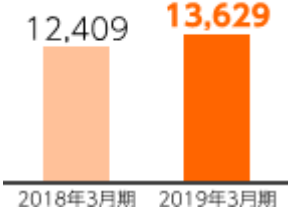
各種媒体、コンテンツからモーニングスターウェブサイトへのアクセスが増加し、セミナーの強力な集客力となっております。

また、「iDeCo総合ガイド」、「つみたてNISA総合ガイド」、中国金融情報「サーチナ（SearChina）」などの専用ポータルサイトも運営しており、それぞれに利便性の高いコンテンツを提供し、関連ニュースやコラムも発信しています。

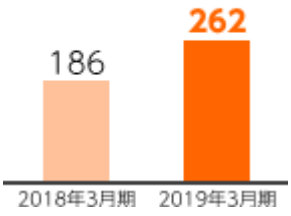


<資産運用セミナー>

セミナーの来場者数（単位：人）



セミナーの協賛社数（単位：社）







◀2019/3/3(日)
FFGホール
「投信フェア2019
in福岡」
(来場：483名)



2018/9/15(土)▶
東京ミッドタウン
「投信EXPO2018」
(来場：2,672名)

「資産運用の考え方」「話題の金融商品」「金融市場の最新動向」などをテーマにした資産運用セミナーを随時開催しております。

投資家の皆様を資産運用セミナーや企業IRセミナーに無料でご招待しております。

上記の「投信フェアin福岡」のほか各地方でも開催しております。セミナーの動画・対談動画も配信しております。

最近の主な資産運用セミナー

日付	場所	来場者数	テーマ
2018/09/15	東京	2,672名	投信EXPO2018
2018/12/08	東京	1,572名	人生100年時代フォーラム2018
2019/01/27	東京	1,975名	資産形成フォーラム
2019/03/03	福岡	483名	投信フェア2019in福岡
2019/03/21	埼玉	351名	投信フェア2019in埼玉
2019/03/30	千葉	407名	投信フェア2019in千葉

毎回多数の投資家の皆様にご参加いただいております。

投信EXPO2019のご案内

日付	場所	来場者数	テーマ
2019/09/14	東京	3,000名（予定）	投信EXPO2019

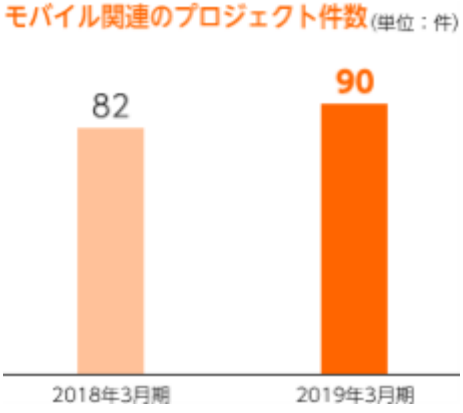
昨年2,700名近くの方にご来場いただき、大好評だった投信EXPOを今年も9月14日に開催いたします。詳細については決まり次第、当社ホームページにてお知らせいたします。無料でご参加いただけるセミナーでございますので、是非お申込みください。

投信EXPO2019ほか、多数の資産運用セミナーや企業IRセミナーも予定しております。詳しくは、当社ホームページをご参照ください。いずれも無料でご招待いたします。

当社ホームページよりお申込みください。

セミナー申込ページ　http://www.morningstar.co.jp/event/index.html

【ウェブ・コンサルティング】（モーニングスター/ゴメス・コンサルティング事業部）



ウェブサイト改善のための分析・アドバイス業務、ウェブサイトの制作支援業務ほかウェブ・コンサルティングを行なうゴメス・コンサルティング事業部は、金融機関からフィンテック関連のウェブサイトの開発など多くの受注をいただいております。

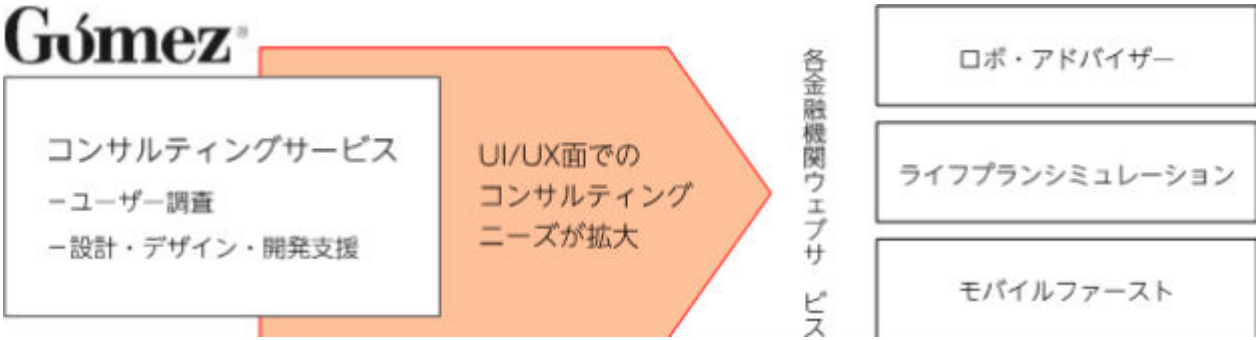
Gomezサイトランキングは、各業界から大きな注目を集めております。

主なウェブサイトランキングの発表

2018年12月　IRサイトランキング
2018年　9月　投信運用会社サイトランキング
2018年　8月　売買不動産情報サイトランキング
　　賃貸不動産情報サイトランキング
2018年　5月　地方銀行サイトランキング



ウェブサイトランキングは当社のゴメス・コンサルティングサイトでご覧いただけます。
http://www.gomez.co.jp/



企業のビジネスの成功に向けて、ウェブサイトに関する課題の洗い出しや戦略策定およびウェブサイトの改善策の具体的な実施までトータルなサポートを提供しております。

特に、金融機関のフィンテック関連サービスやモバイルファーストの取り組みの拡充に伴い、専門的なコンサルティングニーズの需要が拡大しております。

アセットマネジメント事業　売上高 3,236百万円

金融商品取引法に基づき投資信託の設定、募集、運用などの投資運用や投資助言を行う事業であります。

売上高構成比



売上高



営業利益



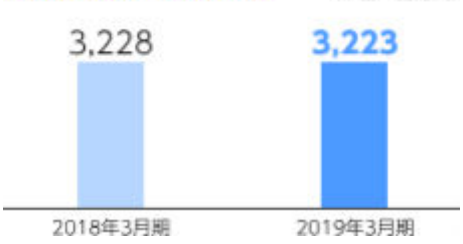
ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産残高が、前連結会計年度末の3,274億円から848億円（△25.9%）減少し2,426億円となり、信託報酬が減少しました。その結果、アセットマネジメントの売上高は、前連結会計年度の3,242百万円から5百万円（△0.2%）の減収となる3,236百万円となりました。

セグメント利益は、前連結会計年度の588百万円から19百万円（△3.3%）の減益となる568百万円となりました。

アセットマネジメントの主なサービス

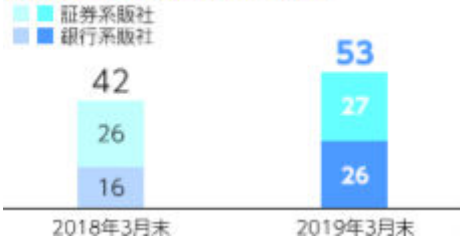
【ファンド運用受託】（SBIアセットマネジメント）

運用受託報酬の売上高



SBI Asset Management

販売会社数の推移（1年間）



SBIアセットマネジメントは、お客様の視点に立った革新性のある運用商品を提供しております。リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ2019　ジャパンにおいて、最優秀ファンド賞を受賞いたしました。また、R&Iファンド大賞2019において、優秀ファンド賞を受賞いたしました。

リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ2019　ジャパン

部門	表彰区分	表彰対象
株式型　日本株　中小型株	最優秀ファンド賞	SBI中小型成長株ファンドジェイネクスト

R&Iファンド大賞2019

部門	表彰区分	表彰対象
国内中小型株式	優秀ファンド賞	ＳＢＩ小型成長株ファンドジェイクール

運用するファンドの純資産残高

SBIアセットマネジメントが運用するファンドの純資産残高は、内外株式市場の不調により、減少いたしました。こうした中、定率払出の新商品の投入や営業努力による新規販売会社獲得に努めてまいりました。

SBIアセットマネジメントの運用ファンドの純資産残高の推移

（単位：億円）



SBIアセットマネジメントの主なファンドのご紹介

SBI中小型割安成長株ファンド（ジェイリバイブ）

『R&Iファンド大賞』において受賞歴のあるファンドです。リターンの高さもさることながら、安定的な投資効率の高さが評価されました。
（3月末純資産687億円）



SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド

日本を含むアジアの株式の中からフィンテック関連分野において高い成長が見込まれる銘柄に投資します。
（3月末純資産67億円）



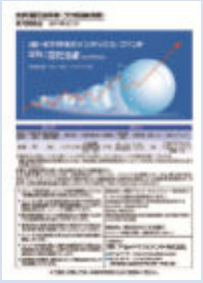
中小型成長株ファンド（ジェイネクスト）

リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ2019　ジャパンにおいて、最優秀ファンド賞を受賞いたしました。何らかの理由により割安な株価であるものの、将来への成長機会を持つ、革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資します。
（3月末純資産173億円）

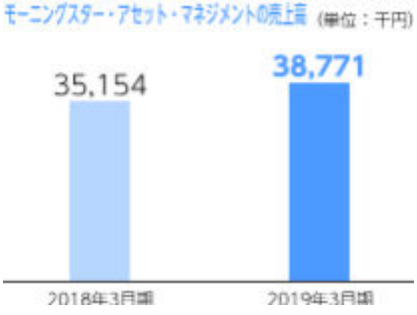


SBI・全世界株式インデックス・ファンド（雪だるま（全世界株式））

ETFを組み合わることにより、全世界の株式市場に連動する投資成果を目指すファンドです。長期投資を応援するため、低廉な信託報酬で提供しております。
（3月末純資産23億円）



【投資助言】（モーニングスター・アセット・マネジメント）



MORNINGSTAR ASSET MANAGEMENT

モーニングスター・アセット・マネジメントは、確定拠出年金の加入者に対して、「投資教育」「ファンドラインナップ分析」「投資助言」などのサポートを行なっております。また、「ファンド・オブ・ファンズ」や「ファンドラップ口座」のアセット・アロケーション（資産配分）、ファンドの選定などについて各金融機関へ助言サービスを提供しております。
モーニングスター・アセット・マネジメントの売上高は前期比10.3％の増収となりました。

確定拠出年金向けの教育冊子



投資助言サービス



(4) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は587百万円であります。そのほとんどは、ファイナンシャル・サービス事業に関わるシステムサーバーおよびソフトウエアを中心とした提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のためのシステム投資であります。すべて、自己資金により設備投資しております。

(5) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(6) 従業員の状況 (2019年3月31日現在)

① 企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数	前連結会計年度末比増減
ファイナンシャル・サービス事業	64（1）名	8名減（−）
アセットマネジメント事業	43（−）	20名増（−）
合　　計	107（1）	12名増（−）

(注) 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。
アセットマネジメント事業の従業員数は、2019年２月にCarret Holdings Inc.およびCarret Asset Management LLCを子会社としたことにより増加しております。

② 当社の使用人の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
64（1）名	8名減（−）	42.3歳	11年1ヶ月

(注) 1. 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. 平均勤続年数は、当社が吸収合併した会社での勤続年数も通算しております。

(7) 重要な親会社および子会社の状況

① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	当社との関係
ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社	100	47.6	親会社、主要株主である筆頭株主 ＳＢＩホールディングス株式会社の100%子会社であります。
ＳＢＩホールディングス株式会社	92,018	(47.6)	親会社 情報サービスやコンサルティングサービスの提供、事務所の転貸借

(注) 当社に対する議決権比率欄の（ ）内は、間接被所有割合であります。

親会社であるＳＢＩホールディングス株式会社との取引については、他の取引先と同様の基本条件、公正な市場価格によって行なうとの基本方針をもって、同社との協議を行ないその内容を決定しており、少数株主の利益を害することのないように取引を行なっております。
当社取締役会も同様の理由で、ＳＢＩホールディングス株式会社との取引は、当社の利益を害するものではないと判断しております。

② 重要な子会社の状況



(注) 百分比は、出資比率であります。
2019年２月14日にCarret Asset Management LLC の持株会社であるCarret Holdings, Inc.の株式の67%を取得し、子会社といたしました。
2019年３月14日にFIGS Inc. Japan 合同会社の持分の100%を取得し、子会社といたしました

(8) 対処すべき課題

当社グループは、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を事業目的に、金融を中心とした情報社会に不可欠な企業グループとして成長していきたいと考えております。そのために、当社グループの信用力・ブランド力の向上を図るとともに、提供情報・商品を発展・拡充して、投資家・消費者のためにより有用な情報を提供すること、そのための情報提供チャネルを開拓していくことなどにより、中長期の事業運営を行なっていく所存です。

中長期の経営目標を達成するために、具体的には以下の施策に重点を置いて中長期の事業運営を行なってまいります。

① 評価情報の中立性および信頼性の更なる向上

当社グループの営業基盤は、当社グループが行なう各種の評価情報の客観性と中立性にあると考えております。そのため、ユーザーからの当社グループの信頼性が損なわれないように、評価情報が客観的事実に基づくものか否かのチェック体制を構築しております。今後も評価情報の客観性を高め、中立性の確保を図り、信頼性をさらに向上させる必要があると考えております。

② ブランディング

当社グループは、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を目的に事業を行なっております。

この目的のためには、より多くの一般投資家・消費者の皆様に当社グループの比較・評価情報の意義・内容を理解していただく必要があり、当社グループの客観的な比較・評価情報を入手する機会を増加させる必要があります。そのためには、「モーニングスター」「ゴメス」「株式新聞」「サーチナ」「ＳＢＩアセットマネジメント」のブランドを社会的に確立する努力が不可欠であり、ブランドの確立により、ウェブサイトほかの広告価値や提供データの利用価値を高め、業績の向上を図りたいと考えております。

③ フィデューシャリー・デューティー（金融機関の顧客本位の業務運営）への対応

政府が2016年6月2日に閣議決定した「日本再興戦略2016」のなかに「金融機関に対しては、利益相反の適切な管理や運用高度化等を通じ、真に顧客・受益者の利益にかなう業務運営がなされるよう、フィデューシャリー・デューティーの徹底を図ることとし、これにより、国民の安定的な資産形成への貢献を促す」とあります。これは「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」とする当社の事業の目的と合致するものであります。

また、その具体策として、金融庁は2016年9月15日に公表した「平成27事務年度金融レポート」のなかで、金融機関に対し、(1) 良質な金融商品の提供と投資信託選定プロセスの透明化、(2) 金融機関と顧客の間にある「情報の非対称性」の解消と顧客本位の業務運営、(3) 顧客の金融リテラシー強化と顧客の「投資への興味促進」を求めています。当社は、これらの具体策のソリューションとなるサービスを金融機関に提供してまいりました。

(1)について、当社は、金融機関に投資信託のラインナップ分析や導入ファンドの選定支援などのファンドレポートを提供しております。(2)について、当社は、投資信託の販売員の方が顧客に適切な投資信託の提案をするツールとしてタブレットアプリを提供しております。(3)について、当社は投資家の皆様に金融情報をＷＥＢ上で無料提供し、資産運用セミナーに無料でご招待しております。

今後も金融機関が進めるフィデューシャリー・デューティーに適合するより良いソリューションを提供し、金融市場の健全化に伴って、当社グループも健全な成長をしていきたいと考えております。

④ 評価情報の拡大および金融情報データベースの拡充

当社は、国内外の投資信託をはじめとする金融情報をデータベースに蓄え、このデータベースを基盤として、順次提供情報の質的・量的拡充に努めてまいります。　最近の取り組みは、以下のとおりです。

（ETF（上場投資信託）の評価情報）

2017年2月7日に、今後非常に高い成長が見込まれるETF（上場投資信託）の評価情報の提供を開始いたしました。ETFの評価情報の提供は国内初のものであります。

（企業の信用力評価・債券の格付）

2017年3月16日に設立した子会社MSクレジットリサーチは、現存の格付企業とは一線を画したオリジナルな分析手法を開発し、幅広い銘柄を対象に中立的かつ客観的な立場から企業の信用力を調査し、債券格付の情報提供を行うことで社債市場の健全な発展に寄与することを目指しております。

（仮想通貨関連事業）

当社グループは、2017年10月に、仮想通貨のポータルサイトを立ち上げ、仮想通貨の取引価格情報や仮想通貨関連ニュース、国内外のICO（イニシャル・コイン・オファリング：新規仮想通貨公開）の予定表の評価情報の提供を開始いたしました。

当連結会計年度には、マーケット情報やポートフォリオ機能の提供を開始いたしました。

（株式・投資信託情報）

「株式新聞」アプリは海外株情報を拡充し、国内株と比較出来る機能を付加いたしました。「My投資信託」アプリもリニューアルし、法人・個人両ユーザーに対し、一部の機能を有料で提供する予定です。

当社グループは、上記のほか、国内・海外のファンドデータ、株式、企業情報、仮想通貨等のデータをさらに拡充し、他社の追随を許さない総合的金融情報のデータベースを築きたいと考えております。

また、(4) 設備投資の状況に記載のとおり、提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のための設備投資を怠りなく実施していきたいと考えております。

⑤ 情報環境の変化に迅速かつ適切に対応できる体制の構築

当社は、スマートフォンやスマートタブレットなどの最新の情報端末による金融情報提供を行ない、金融市場、インターネット環境の変化に適宜対応する努力をしてまいりました。

９ページに記載のとおり、2011年3月期に開始したタブレットアプリによるファンドデータの提供は、当連結会計年度末には73,164台となり、タブレットアプリによるデータ提供は、当社の収益の大きな柱となりました。
タブレットアプリは、当連結会計年度から、より広く活用できるように保険やライフプランの機能を追加し、名称も「投資信託INDEX」から「Wealth Advisors」へ変更いたしました。

今後も、情報環境の変化に対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを提供していきたいと考えております。

⑥ アセットマネジメント事業の強化

当社グループは、アセットマネジメント事業の強化を図ってきました。
当社グループは、これまで子会社ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が行なっている国内株式型投資信託の運営を中心にアセットマネジメント事業を行なってきましたが、2019年2月に米国の資産運用会社Carret Asset Management LLCを子会社とし、同社が運営する海外債券型ファンド等について、アセットマネジメント事業の範囲を拡大いたしました。

同社が運営するファンドの運用資産残高は、2019年３月末現在 2,973億円（26.8億ドル）あり、ＳＢＩアセットマネジメントの運用資産残高2,426億円と合わせて、当社グループの運用残高は合計5,399億円となります。
ＳＢＩアセットマネジメントが設定する公募・私募投資信託を通じて、Carret Asset Managementが、バリュー投資の祖であるPhilip Carretから受け継いだ運用力で、より高く、かつ安定的なパフォーマンスの商品を日本の投資家の皆様にお届けいたしたいと考えております。
SBIアセットマネジメントは次の飛躍に向け販売会社数を、前連結会計年度の42社から53社に増加させるなど、アセットマネジメント事業を着実に強化しております。

2 株式の状況（2019年3月31日現在）

（1）発行可能株式総数　315,600,000株

（2）発行済株式の総数　83,973,600株

（3）株主数　15,215名

（4）主な株主

株主名	持株数（株）	議決権比率
ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社	39,466,100	47.6%
MORNINGSTAR，INC	25,168,400	30.4%

（注）ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社はＳＢＩホールディングス株式会社の100%子会社であります。
2019年3月31日現在、自己株式1,081,170株を保有しております。議決権比率は自己株式を除いて計算しております。

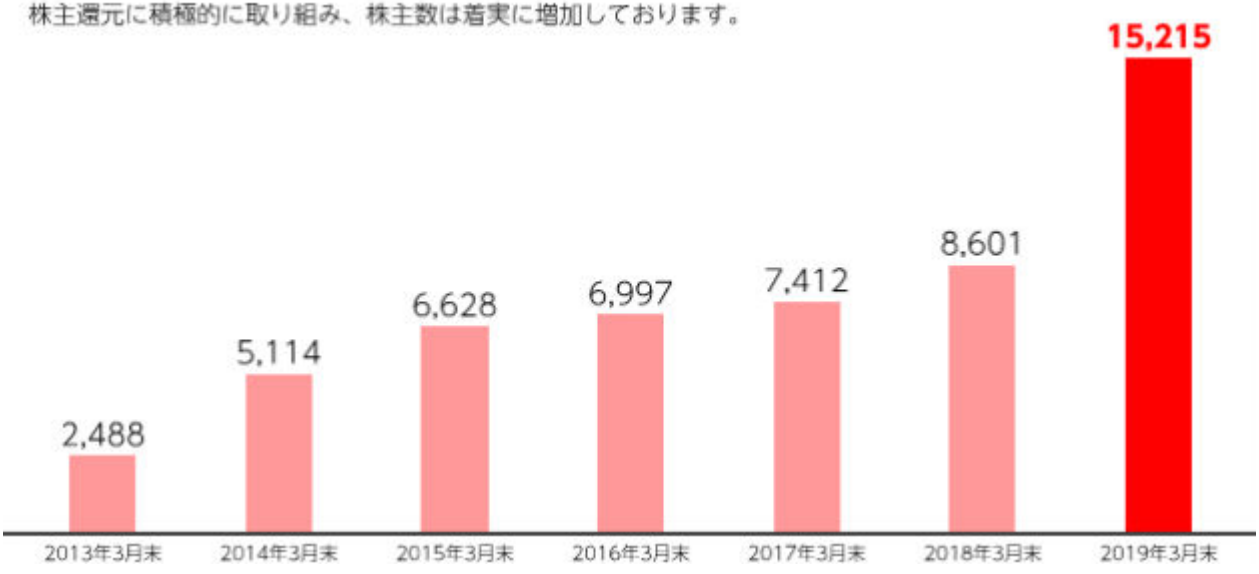
（5）その他の株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

株主数の推移

（単位：名）

株主還元に積極的に取り組み、株主数は着実に増加しております。



3 会社役員の状況

(1) 取締役および監査役の状況 (2019年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当
代表取締役執行役員社長	朝　倉　智　也	
取締役執行役員	小　川　和　久	管理部長
取締役執行役員	佐　原　正之助	プロダクト開発本部長
取締役執行役員	古　庄　　聡	セールス＆マーケティング部長
取締役執行役員	森　澤　正　人	ゴメス・コンサルティング事業部長
取締役	北　尾　吉　孝	
取締役	大　鶴　基　成	
取締役	ベビン・デズモンド (Bevin Desmond)	
取締役	チャン・ユーツン (Chang Yu-Tsung)	
取締役	ジェイソン・デユビンスキー (Jason Dubinsky)	
常勤監査役	緑　川　好　郎	
監査役	長　野　和　郎	
監査役	小　竹　正　信	

(注) 1. 当社は、補欠監査役に神山敏之氏を選任しております。
2. 取締役大鶴基成氏は社外取締役であります。監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏は社外監査役であります。
3. 当社は、取締役大鶴基成氏、監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定し、同取引所に届け出ております。
4. 当事業年度中の取締役および監査役の異動は次のとおりです。
2018年6月22日開催の第21期定時株主総会において、新たにジェイソン・デユビンスキー氏が取締役に選任されました。また、同株主総会終結の時をもって、取締役ドナルド・ジェイムズ・フィリップス二世氏が任期満了で退任されました。

(2) 取締役および監査役の報酬等

当事業年度に係る報酬等の総額

区分	当事業年度に係る報酬等の総額		うち社外役員分	
	支給人員 (名)	支給額 (千円)	支給人員 (名)	支給額 (千円)
取締役	6	90,250	1	3,600
監査役	2	9,600	1	3,600
合　計	8	99,850	2	7,200

(注) 2000年3月21日開催の第4期定時株主総会決議による報酬限度額は、取締役年額500百万円以内、監査役年額100百万円以内であります。

連結計算書類

■連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	第22期 2019年3月31日現在
資産の部	
流動資産	5,462,500
現金及び預金	4,147,460
売掛金	1,137,767
たな卸資産	7,501
その他	169,770
固定資産	5,614,878
有形固定資産	71,993
建物付属設備	**44,853**
器具備品	**27,139**
無形固定資産	**2,246,734**
のれん	**1,262,507**
ソフトウエア	**768,153**
その他	**216,073**
投資その他の資産	3,296,150
投資有価証券	2,845,712
繰延税金資産	242,165
その他	208,272
資産合計	**11,077,379**

科目	第22期 2019年3月31日現在
負債の部	
流動負債	1,634,161
買掛金	57,832
未払金	1,101,187
未払法人税等	318,722
未払消費税等	24,954
その他	131,463
負債合計	**1,634,161**
純資産の部	
株主資本	**9,701,693**
資本金	**2,115,620**
資本剰余金	**3,370,457**
利益剰余金	**4,402,481**
自己株式	**△186,865**
その他の包括利益累計額	**△341,875**
その他有価証券評価差額金	**△348,602**
為替換算調整勘定	**6,727**
非支配株主持分	**83,399**
純資産合計	**9,443,217**
負債・純資産合計	**11,077,379**

■連結損益計算書

（単位：千円）

科目	第22期 2018年4月１日から 2019年3月31日まで
売上高	**6,004,360**
売上原価	**3,578,352**
売上総利益	**2,426,007**
販売費及び一般管理費	778,911
営業利益	**1,647,096**
営業外収益	**135,122**
受取利息	131,945
受取配当金	134
為替差益	664
その他	2,377
営業外費用	**4,981**
持分法による投資損失	4,497
その他	484
経常利益	**1,777,236**
特別利益	**1,494**
新株予約権戻入益	**1,494**
特別損失	**11,519**
子会社清算損失	8,655
事務所移転費用	2,863
税金等調整前当期純利益	**1,767,211**
法人税、住民税及び事業税	524,887
法人税等調整額	21,944
当期純利益	**1,220,379**
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,220,379**

計算書類

■貸借対照表

（単位：千円）

科目	第22期 2019年3月31日現在
資産の部	
流動資産	**3,037,192**
現金及び預金	2,456,425
売掛金	518,141
仕掛品	1,551
貯蔵品	5,916
前払費用	45,797
その他	9,360
固定資産	**4,723,903**
有形固定資産	**54,872**
建物付属設備	32,364
器具備品	22,508
無形固定資産	**1,159,527**
のれん	269,574
ソフトウエア	746,734
その他	143,218
投資その他の資産	**3,509,503**
投資有価証券	1,454,490
子会社株式	1,858,095
長期前払費用	72,957
繰延税金資産	20,262
差入保証金	103,696
資産合計	**7,761,096**

科目	第22期 2019年3月31日現在
負債の部	
流動負債	**431,734**
買掛金	49,247
未払金	128,464
未払費用	859
未払法人税等	229,093
未払消費税等	12,234
前受金	324
預り金	11,509
負債合計	**431,734**
純資産の部	
株主資本	**7,402,574**
資本金	**2,115,620**
資本剰余金	**3,370,457**
資本準備金	2,506,927
その他資本剰余金	863,529
利益剰余金	**2,103,362**
その他利益剰余金	2,103,362
繰越利益剰余金	2,103,362
自己株式	**△186,865**
評価・換算差額等	**△73,213**
その他有価証券評価差額金	**△73,213**
純資産合計	**7,329,361**
負債・純資産合計	**7,761,096**

■損益計算書

（単位：千円）

科目	第22期 2018年4月１日から 2019年3月31日まで
売上高	**2,827,979**
売上原価	**1,234,220**
売上総利益	**1,593,759**
販売費及び一般管理費	**491,419**
営業利益	**1,102,339**
営業外収益	**52,910**
受取利息	52,114
受取配当金	125
為替差益	653
その他	18
営業外費用	**45**
その他	45
経常利益	**1,155,205**
特別利益	**1,494**
その他特別利益	**1,494**
税引前当期純利益	**1,156,699**
法人税、住民税及び事業税	351,150
法人税等調整額	28,270
当期純利益	**777,278**

監査報告

■連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2019年5月15日

モーニングスター株式会社
取締役会　御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　小　堀　一　英　㊞

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　古　谷　大二郎　㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、モーニングスター株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

■計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2019年5月15日

モーニングスター株式会社
取締役会　御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　小　堀　一　英　㊞

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　古　谷　大二郎　㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、モーニングスター株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第22期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

■監査役会の監査報告

当監査役会は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第22期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1．監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

(1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

(2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第１項及び第３項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。

④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2．監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年5月16日

モーニングスター株式会社　監査役会

常勤監査役　**緑　川　好　郎**㊞

社外監査役　**長　野　和　郎**㊞

社外監査役　**小　竹　正　信**㊞

以　上

株主総会参考書類

第１号議案　取締役10名選任の件

現任取締役10名は、本定時株主総会終結の時をもって全員任期満了となりますので、コーポレート・ガバナンス体制の強化および充実を図るため、社外取締役を1名増員し、社外取締役2名を含む以下の取締役10名の選任をお願いするものであります。　取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏　名	現在の当社における地位・担当
1	朝倉智也（あさくら ともや）	代表取締役執行役員社長　再任
2	北尾吉孝（きたお よしたか）	取締役　再任
3	小川和久（おがわ かずひさ）	取締役執行役員 管理部長　再任
4	佐原正之助（さはら しょうのすけ）	取締役執行役員 フィンテック推進部長兼データ分析部長　再任
5	古庄聡（ふるしょう さとし）	取締役執行役員 セールス＆マーケティング部長　再任
6	森澤正人（もりさわ まさと）	取締役執行役員 ゴメス・コンサルティング事業部長　再任
7	大鶴基成（おおつる もとなり）	社外取締役　再任　独立　社外
8	Bevin Desmond ベビン・デズモンド	取締役　再任
9	Chang Yu-Tsung チャン・ユーツン	取締役　再任
10	Billy Wade Wilder ビリー・ウェード・ワイルダー	新任　独立　社外

1. 朝倉 智也（あさくら ともや）

（1966年3月16日生） 所有する当社の株式数 378,400株

再任

略歴、当社における地位および担当

1989年４月　㈱北海道拓殖銀行 入社
1995年６月　ソフトバンク㈱（現ソフトバンクグループ㈱）入社
1998年11月　当社 入社
2000年３月　当社取締役
2004年７月　当社代表取締役社長
2005年12月　当社代表取締役執行役員COO
2007年６月　ＳＢＩホールディングス㈱取締役執行役員
2011年４月　ＳＢＩアセットマネジメント㈱取締役（現任）
2012年６月　ＳＢＩホールディングス㈱取締役執行役員常務
2012年７月　当社代表取締役執行役員社長（現任）
2013年６月　ＳＢＩホールディングス㈱取締役執行役員専務
2015年11月　ＳＢＩグローバルアセットマネジメント㈱代表取締役社長兼ＣＥＯ（現任）
2018年６月　ＳＢＩホールディングス㈱取締役専務（現任）
2019年２月　Carret Holdings, Inc.Director（現任）

重要な兼職の状況

ＳＢＩホールディングス株式会社	取締役専務
イー・アドバイザー株式会社	代表取締役社長
モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	代表取締役社長
ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社	代表取締役社長兼CEO
ＭＳクレジットリサーチ株式会社	代表取締役社長
ＳＢＩオルタナティブ・インベストメンツ株式会社	代表取締役
ＳＢＩボンド・インベストメント・マネジメント株式会社	取締役会長
ＳＢＩアセットマネジメント株式会社	取締役
ＳＢＩインシュアランスグループ株式会社	取締役
ＳＢＩ地方創生アセットマネジメント株式会社	取締役
Carret Holdings, Inc.	Director

2. 北尾 吉孝（きたお よしたか）

（1951年1月21日生） 所有する当社の株式数 183,200株

再任

略歴、当社における地位および担当

1974年４月　野村證券㈱ 入社
1995年６月　ソフトバンク㈱（現ソフトバンクグループ㈱）常務取締役
1999年７月　当社代表取締役社長
1999年７月　ソフトバンク・インベストメント㈱（現 ＳＢＩホールディングス㈱）代表取締役社長
2006年３月　当社取締役執行役員CEO
2012年６月　ＳＢＩホールディングス㈱代表取締役執行役員社長
2012年７月　当社取締役（現任）
2018年６月　ＳＢＩホールディングス㈱代表取締役社長（現任）

重要な兼職の状況

ＳＢＩホールディングス株式会社	代表取締役社長
株式会社ＳＢＩ証券	代表取締役会長
ＳＢＩインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長
ＳＢＩファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長
ＳＢＩウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長
株式会社SBI BITS	代表取締役会長
ＳＢＩファイナンシャルサービシーズ株式会社	代表取締役会長
ＳＢＩバーチャル・カレンシーズ株式会社	代表取締役社長
SBI Crypto株式会社	代表取締役会長
SBI Capital Base株式会社	代表取締役会長
SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長
ＳＢＩデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役社長
ＳＢＩクリプトインベストメント株式会社	代表取締役
SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社	代表取締役
ＳＢＩ Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director
ＳＢＩリクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長
株式会社ネクシィーズ・トレード	取締役会長
ＳＢＩキャピタルマネジメント株式会社	取締役会長
ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社	取締役会長
SBI Ripple Asia株式会社	取締役会長

3. 小川 和久（おがわ かずひさ） （1962年1月4日生） 所有する当社の株式数 84,500株 再任

略歴、当社における地位および担当

1986年10月 英和監査法人
（現 有限責任あずさ監査法人）入社
1995年 8 月 監査法人トーマツ
（現 有限責任監査法人トーマツ）入社
2005年 3 月 当社取締役執行役員CFO
2012年 7 月 当社取締役執行役員管理部長（現任）
2019年 2 月 Carret Holdings, Inc.Director（現任）
2019年 2 月 ＳＢＩアセットマネジメント株式会社
取締役（現任）

重要な兼職の状況

モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社 監査役
イー・アドバイザー株式会社 監査役
Carret Holdings, Inc. Director
ＳＢＩアセットマネジメント株式会社 取締役
ＭＳクレジットリサーチ株式会社 監査役

4. 佐原 正之助（さはら しょうのすけ） （1968年5月1日生） 所有する当社の株式数 139,000株 再任

略歴、当社における地位および担当

1991年 4 月 山一證券㈱ 入社
1998年 4 月 当社 入社
2005年 3 月 当社取締役プロダクト・サービス部
ゼネラルマネージャー
2011年10月 イー・アドバイザー㈱取締役（現任）
2012年 7 月 当社取締役執行役員プロダクト・サービス部長
2014年 9 月 当社取締役執行役員ウェブマーケティング部長
2014年12月 PT.Bina Investama Infonet監査役（現任）
2015年 1 月 当社取締役執行役員プロダクト開発本部長
2019年 4 月 当社取締役執行役員フィンテック推進部長兼データ分析部長（現任）

重要な兼職の状況

イー・アドバイザー株式会社 取締役
ＭＳクレジットリサーチ株式会社 取締役
PT.Bina Investama Infonet 監査役

5. 古庄 聡（ふるしょう さとし） （1969年3月18日生） 所有する当社の株式数 50,000株 再任

略歴、当社における地位および担当

1991年 4 月 千代田生命保険相互会社
（現 ジブラルタ生命保険㈱）入社
2000年 4 月 当社 入社
2006年 3 月 当社取締役セールス＆マーケティング部
ゼネラルマネージャー
2009年 1 月 当社取締役営業企画部ゼネラルマネージャー
2011年10月 モーニングスター・アセット・マネジメント㈱
取締役企画管理部長
2012年 7 月 当社取締役執行役員営業企画部長
2017年 4 月 当社取締役執行役員営業企画本部長
2017年11月 モーニングスター・アセット・マネジメント㈱
取締役（現任）
2018年 2 月 当社取締役執行役員セールス＆マーケティング部長
（現任）

重要な兼職の状況

モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社 取締役
ＭＳクレジットリサーチ株式会社 取締役

6. 森澤 正人（もりさわ まさと）

（1974年7月29日生） 所有する当社の株式数 72,800株

再任

略歴、当社における地位および担当

1998年４月　ソフトバンク㈱（現ソフトバンクグループ㈱） 入社
1999年４月　ソフトバンク・ファイナンス㈱（現ソフトバンク(株)）入社
2003年３月　ゴメス・コンサルティング㈱（現 当社）取締役
2006年３月　同社代表取締役執行役員COO
2008年11月　同社代表取締役執行役員CEO
2011年６月　当社取締役ゴメス・コンサルティング事業部ゼネラルマネージャー
2012年７月　当社取締役執行役員 ゴメス・コンサルティング事業部長（現任）
2013年11月　ＳＢＩサーチナ㈱（現 当社）取締役

重要な兼職の状況

SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社　取締役

7. 大鶴 基成（おおつる もとなり）

（1955年3月3日生） 所有する当社の株式数 －株

再任　独立　社外

略歴、当社における地位および担当

1980年４月　検事任官
2000年６月　東京地検特別捜査部副部長（財政経済担当）
2001年４月　法務省刑事局公安課長、司法試験委員
2002年８月　東京地検特別捜査部副部長（特殊直告担当）
2005年４月　東京地検特別捜査部長
2007年１月　函館地検検事正
2008年１月　最高検検事（財政経済担当）
2010年３月　東京地検次席検事
2011年８月　最高検公判部長、検事退官、弁護士登録（第一東京弁護士会）、サン綜合法律事務所属　客員弁護士（現任）
2012年７月　アウロラ債権回収㈱社外取締役（現任）
2012年12月　META Capital㈱社外取締役
2014年１月　一般社団法人日本野球機構　調査委員長（現任）
2014年６月　イオンフィナンシャルサービス㈱社外取締役（現任）
2015年６月　当社 社外取締役（現任）
2017年３月　ＳＢＩインシュアランスグループ㈱社外監査役（現任）

重要な兼職の状況

サン綜合法律事務所	客員弁護士	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
アウロラ債権回収株式会社	社外取締役	ＳＢＩインシュアランスグループ株式会社	社外監査役
一般社団法人日本野球機構	調査委員長		

8. Bevin Desmond ベビン・デズモンド

（1966年11月9日生） 所有する当社の株式数 －株

再任

略歴、当社における地位および担当

1988年９月　マサチュセッツ州エベレスト市職員
1993年９月　Morningstar, Inc. 入社
1999年10月　当社取締役（現任）
2000年10月　Morningstar, Inc.　Head of Global Markets and Human Resources
2005年３月　Morningstar, Inc.　Executive Officer
2000年10月　Morningstar, Inc.　Head of Global Markets and Human Resources
2018年２月　Morningstar, Inc.　head of talent and culture（現任）

重要な兼職の状況

Morningstar, Inc.　head of talent and cultures

9. Chang Yu-Tsung チャン・ユーツン （1968年2月3日生） 所有する当社の株式数 －株 再任

略歴、当社における地位および担当

1990年 8 月　シティバンク エヌ・エイ 入社
1992年12月　スタンダード＆プアーズ 入社
2000年 1 月　スタンダード＆プアーズ 在日代表
2007年 8 月　スタンダード＆プアーズ 格付部門 アジア太平洋地域統括責任者
2011年11月　スタンダード＆プアーズ・レーティング・ジャパン㈱ 代表取締役社長
2015年 1 月　イボットソン・アソシエイツ・ジャパン㈱入社 アジア地域 営業推進統括責任者
2016年 4 月　イボットソン・アソシエイツ・ジャパン㈱ 代表取締役社長（現任）
2017年 6 月　当社取締役（現任）
2017年12月　日本リスク・データバンク株式会社　社外取締役（現任）
2018年12月　Morningstar Korea, Inc.取締役（現任）
2019年 2 月　ForeVision株式会社 社外取締役（現任）

重要な兼職の状況

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社	代表取締役社長	Morningstar Korea, Inc.	取締役
日本リスク・データバンク株式会社	社外取締役	ForeVision株式会社	社外取締役

10. Bly Wade Wilder ビリー・ウェード・ワイルダー （1950年２月６日生） 所有する当社の株式数 －株 新任 独立 社外

略歴、当社における地位および担当

1986年 4 月　シュローダー証券会社　日本株調査部長
1992年12月　フィデリティ投信株式会社　入社
1995年 9 月　同社　代表取締役社長
2004年 7 月　日興アセットマネジメント株式会社　代表取締役社長
2014年 1 月　GIC証券株式会社（現GIキャピタル・マネジメント株式会社）取締役
2014年 9 月　MATT.ER K.K., Senior Consultant & Chief Investment Officer（現任）
2016年 4 月　マネックスグループ株式会社　社外取締役
2016年 4 月　Prospect Co., Advisor

重要な兼職の状況

MATT.ER K.K.	Senior Consultant & Chief Investment Officer

（注）1. 北尾吉孝氏は、ＳＢＩホールディングス㈱の代表取締役社長を兼務しており、朝倉智也氏は、同社の取締役員専務を兼務しております。当社は、同社に情報サービスやコンサルティングサービスを提供しております。また、当社は同社から事務所の転貸借を受けております。また、北尾吉孝氏は、㈱ＳＢＩ証券の代表取締役会長を兼務しております。当社は、同社に情報サービスやコンサルティングサービスを提供しております。また、北尾吉孝氏は、ＳＢＩインベストメント株式会社の代表取締役執行役員会長を兼務しております。当社は、同社に情報サービスを提供しております。

ベビン・デズモンド氏が役員を兼務するMorningstar, Inc.は、当社に対してライセンス等を供与しているほか、当社との間で、相互に商品・サービスの販売・購買等の取引を行っております。

なお、チャン・ユーツン氏が代表取締役社長を務めるイボットソン・アソシエイツ・ジャパン㈱は、Morningstar, Inc.の子会社であります。当社とイボットソン・アソシエイツ・ジャパン㈱の間には、ファンドツールの販売に関する取引があります。

その他の取締役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

2. 大鶴基成氏およびビリー・ウェード・ワイルダー氏は、社外取締役候補者であります。
3. 大鶴基成氏は、検事、弁護士としての豊富な知識と経験を有し、法務・コンプライアンスを中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、社外取締役候補者とするものであります。大鶴基成氏は、過去に社外取締役となること以外の方法で会社の経営に関与した経験はありませんが、同様の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行できると判断しております。なお、ＳＢＩインシュアランスグループ㈱は、当社の特定関係事業者（親会社の子会社）であります。
4. 大鶴基成氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は本株主総会終結の時をもって4年となります。
5. ビリー・ウェード・ワイルダー氏は、約18年間の国内の資産運用会社の経営経験があり、日本の資産運用業について豊富な知識と経験を有しています。 また、上場企業の社外取締役の経験もあります。アセットマネジメント事業を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、社外取締役候補者とするものであります。
6. 当社は、大鶴基成氏を東京証券取引所の定める独立役員として届け出ており、大鶴基成氏の選任が承認された場合、引き続き独立役員への就任をお願いする予定です。また、ビリー・ウェード・ワイルダー氏の選任が承認された場合、独立役員への就任をお願いする予定です。
7. 当社は定款第26条第2項において、会社法第427条第1項の規定に基づき、社外取締役との間に、同法第423条第1項の社外取締役の賠償責任を限定する契約を締結することのできる旨を定めており、当社は、大鶴基成氏との間で、100万円または法令が定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする責任限定契約を締結しております。同氏の選任が承認された場合、当該契約を継続する予定であります。

また、ビリー・ウェード・ワイルダー氏の選任が承認された場合、同条件の責任限定契約を締結する予定です。

7．取締役候補者の現在または過去5年間における当社の親会社または親会社の子会社の業務執行者としての地位および担当は、以下のとおりです。

取締役候補者	当社の親会社または親会社の子会社	業務執行者としての地位および担当
朝倉智也	ＳＢＩホールディングス株式会社	取締役専務（現任）
	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	代表取締役社長（現任）
	イー・アドバイザー株式会社	代表取締役社長（現任）
	ＳＢＩボンド・インベストメント・マネジメント株式会社	代表取締役会長（現任）
	ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社	代表取締役社長兼ＣＥＯ(現任)
	ＭＳクレジットリサーチ株式会社	代表取締役社長（現任）
	ＳＢＩオルタナティブ・インベストメンツ株式会社	代表取締役（現任）
	ＳＢＩアセットマネジメント株式会社	取締役（現任）
	ＳＢＩ地方創生アセットマネジメント株式会社	取締役（現任）
	Carret Holdings, Inc.	Director(現任)
	SBI 地域事業承継投資株式会社	取締役（現任）
	FIGS Inc Japan 合同会社	職務執行者（現任）
	ＳＢＩ少短保険ホールディングス株式会社	代表取締役
	ＳＢＩゴールド株式会社	代表取締役
北尾吉孝	ＳＢＩホールディングス株式会社	代表取締役社長（現任）
	株式会社ＳＢＩ証券	代表取締役会長（現任）
	ＳＢＩインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長（現任）
	ＳＢＩファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長（現任）
	ＳＢＩウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長（現任）
	株式会社SBI BITS	代表取締役会長（現任）
	ＳＢＩファイナンシャルサービシーズ株式会社	代表取締役会長（現任）
	SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長（現任）
	ＳＢＩ Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director（現任）
	SBI Crypto株式会社	代表取締役会長（現任）
	SBI Capital Base株式会社	代表取締役会長（現任）
	SBIデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役社長（現任）
	ＳＢＩバーチャル・カレンシーズ株式会社	代表取締役社長（現任）
	SBIクリプトインベストメント株式会社	代表取締役（現任）
	SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社	代表取締役（現任）
	ＳＢＩリクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長（現任）
	株式会社ネクシィーズ・トレード	取締役会長（現任）
	ＳＢＩキャピタルマネジメント株式会社	取締役会長（現任）
	ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社	取締役会長（現任）
	SBI Ripple Asia株式会社	取締役会長（現任）
	ＳＢＩジャパンネクスト証券株式会社	取締役（現任）
	SBI CoVenture Asset Management株式会社	取締役（現任）
	SBI EVERSPIN株式会社	取締役（現任）
	SBIセキュリティ・ソリューションズ株式会社	取締役（現任）
	SBI R3 Japan株式会社	取締役（現任）
	マネータップ株式会社	取締役（現任）
	BYFX HK Co., Limited	Director（現任）
	SBI VEN HOLDINGS PTE. LTD.	Director（現任）
	SBI Royal Securities Plc.	Director（現任）
	SBI Hong Kong Co., Limited	Director（現任）
	SBI ALApharma Co., Limited	Director（現任）
	SBI VENTURES SINGAPORE PTE. LTD.	Director（現任）
	BYFIN CO., LIMITED	Director（現任）
	SBI JI Innovation Partners Ltd.	Director（現任）
	DigitAEx　LIMITED	Director（現任）
	Sunshine Holdings PLC	Director（現任）
	アルヒ株式会社	代表取締役会長執行役員CEO
	ＳＢＩキャピタル株式会社	代表取締役執行役員CEO
	SBI Ventures Malaysia Sdn. Bhd.	Director

取締役候補者	当社の親会社または親会社の子会社	業務執行者としての地位および担当
	SBI KOREA HOLDINGS CO., LTD.	Director
	SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.	Director
	SBI & TH (Beijing) Venture Capital Management Co., Ltd	董事
	ＳＢＩゴールド株式会社	代表取締役会長
	SBI Carret Inc.	Director
小 川 和 久	Carret Holdings, Inc.	Director（現任）
	ＳＢＩアセットマネジメント株式会社	取締役（現任）
佐 原 正之助	イー・アドバイザー株式会社	取締役（現任）
	ＭＳクレジットリサーチ株式会社	取締役（現任）
	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	取締役企画管理部担当
古 庄 聡	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	取締役(現任)
	ＭＳクレジットリサーチ株式会社	取締役(現任)
森 澤 正 人	SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社	取締役(現任)

（注）親会社の子会社から当社および当社が合併した当社の子会社を除いて記載しております。

第２号議案　補欠監査役１名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第3項の規定に基づき、補欠の社外監査役１名を選任することをお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

補欠の監査役候補者は次のとおりであります。

神山（かみやま）　敏之（としゆき）　（1953年10月28日生）　所有する当社の株式数 －株

再任　独立　社外

略歴

1978年４月	㈱富士銀行（現 ㈱みずほ銀行）入社
2001年５月	同行 資金部長
2002年４月	㈱みずほコーポレート銀行 （現 ㈱みずほ銀行）市場企画部欧州資金室長
2004年４月	㈱みずほ銀行　市場営業部長
2007年７月	みずほインベスターズ証券㈱ （現 みずほ証券㈱）　執行役員（金融商品開発部担当、債権部・営業企画部副担当）
2010年４月	Philippine National Bank 東京支店長兼在日代表
2013年４月	ＳＢＩバイオテック㈱ 常勤監査役
2016年６月	当社補欠監査役（現在に至る） ＳＢＩ小短保険ホールディングス㈱監査役
2017年３月	ＳＢＩインシュアランスグループ㈱ 常勤監査役（現任）

重要な兼職の状況

ＳＢＩインシュアランスグループ株式会社　　常勤監査役

（注）1. 候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

2. 神山敏之氏は、補欠の社外監査役候補者であります。

3. 神山敏之氏は、長年にわたり金融および企業経営に関する経験を積み重ね、豊富な経験と幅広い見識を有しており、当社の経営の監督に充分な役割を果たしていただけるものと判断し、補欠の社外監査役として選任をお願いするものであります。なお、ＳＢＩインシュアランスグループ㈱は、当社の特定関係事業者（親会社の子会社）であります。

4. 神山敏之氏は、東京証券取引所の定める独立役員の要件を満たしており、神山敏之氏が監査役に就任した場合には、当社は神山敏之氏に独立役員への就任をお願いする予定です。

5. 当社は、社外監査役との間で、会社法第427条第１項および当社定款第35条第2項の規定に基づき、100万円または法令の定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度として、同法第423条第１項の賠償責任を限定する責任限定契約を締結しております。神山敏之氏が監査役に就任した場合には、当該契約を締結する予定であります。

以　上

定時株主総会会場ご案内図

会場

ザ・キャピトルホテル 東急
東京都千代田区永田町2-10-3　Tel 03-3503-0109

交通

地下鉄	千代田線	国会議事堂前駅	6番出口地下直結
地下鉄	丸ノ内線	国会議事堂前駅	千代田線ホーム経由 6番出口地下直結
地下鉄	南北線	溜池山王駅	6番出口地下直結
地下鉄	銀座線	溜池山王駅	南北線ホーム経由 6番出口地下直結



※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車での来場はご遠慮くださいますようお願い申しあげます。

ミックス
FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。